


ECLIPSE


スピーカスタンド (D1) 取扱説明書

このたびは、スピーカスタンドをお買い求めいただき、まことにありがとうございました。
組み立てを行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ正しく作業を行ってください。
指定以外の組付けや、指定以外の部品を使用すると、事故や怪我の原因となることがあります。
組み立て後は、この取扱説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。

■安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本分をお読みください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- 本製品を高所に設置しない。落下して怪我の原因となります。

注意

- 本製品は、512のスピーカ専用のスタンドです。他の用途には使用しないでください。据え付けが不安定になり落下する恐れがあり怪我の原因となることがあります。
- 本製品の組み立ては平坦な床面で行ってください。平坦でない場所で行うとスタンドが倒れて怪我の原因となることがあります。
- 本製品を通路等に設置しないでください。スタンドに接触して怪我の原因となることがあります。
- 本製品は、水平でしっかりとした床に設置してください。不安定な場所に設置すると転倒して怪我の原因となることがあります。
- 本製品を持ち運ぶ際は、スパイクに触れないように注意してください。スパイクに触れると怪我の原因となることがあります。
- 本製品は、スパイクピンが装着されていますので組み立て時運搬時に落としたり、引きづったりしないでください。落としたり引きずったりすると怪我や床等に傷が付く原因となることがあります。
- 六角穴付きボルトを締めたり緩めたりする場合、スパイクで手をひっかくことがないように注意してください。怪我の原因となることがあります。
- 上にスピーカを載せたまま移動しないでください。倒れたり落下して怪我の原因となることがあります。
- 乗ったりぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたりこわれたりして怪我の原因となることがあります。
- 重いので開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。腰を痛める、足の上に落とす等怪我の原因となることがあります。

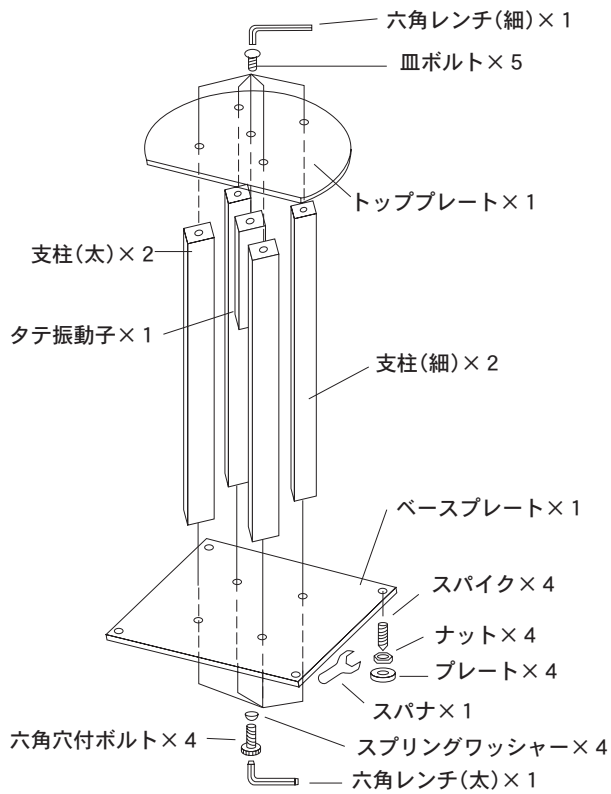
〔1〕 使用上の注意

- (1) 本機はスピーカシステム用のスタンドです。他のものへの利用はさけてください。
- (2) 本機は重量物であり、スパイク(ピン)が装着されますので、取り扱いには十分注意してください。
- (3) 本機は水平でしっかりとした床に設置するものとし、不安定な場所には設置しないでください。
- (4) 本機を倒さないように注意してください。
- (5) スピーカーシステムが本機から落ちないように十分注意してください。
- (6) 本機の汚れは、中性洗剤を柔らかい布に含ませて軽く拭いてください。シンナー、ベンジンなどは使わないでください。

〔2〕 スピーカースタンドの特徴

- (1) 本スタンドは支柱及びタテ振動子の中に铸铁分を充填させていますので、パイプの共振を取り除き、振動減衰性に優れています。
- (2) トッププレートには縦振動理論を応用したタテ振動子を取り付け、振動を消去させる制振構造になっています。
- (3) スタンドの底面はスパイク支持方式の採用により、床など外部からの振動を抑制します。
- (4) スタンドの設置方向や支柱の設置角度を変えられるので、サウンドチューニングが可能です。

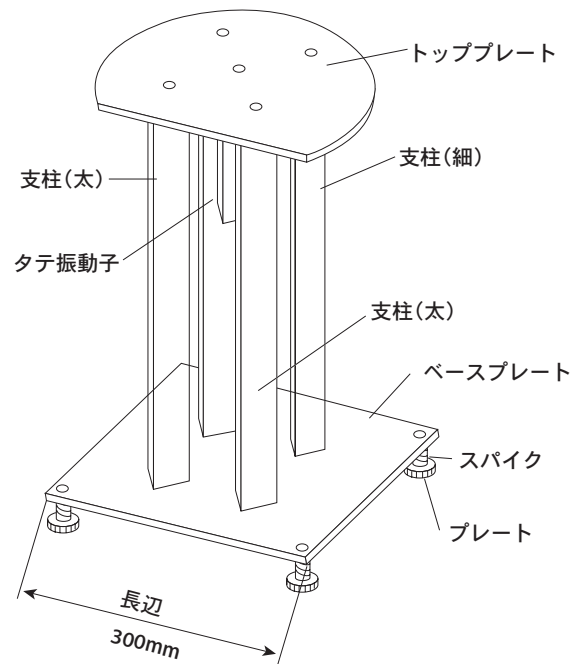
〔3〕各部の名称と数量



〔4〕基本的な使い方

正面に支柱(太)が2本くるように組み立ててください。

標準組み立て例



〔5〕組み立て方のバリエーション

このスタンドは組み立て方により、サウンドチューニングが可能です。
基本的には①を標準形としますが、求める音に合わせて組み立て方を決めてください。

① 標準形	② バリエーション I	③ バリエーション II
<ul style="list-style-type: none"> 支柱(太)を前、支柱の角が正面に向くようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 支柱(細)を前にします。 	<ul style="list-style-type: none"> 支柱、タテ振動子の角度をベースプレートと平行になるようにします

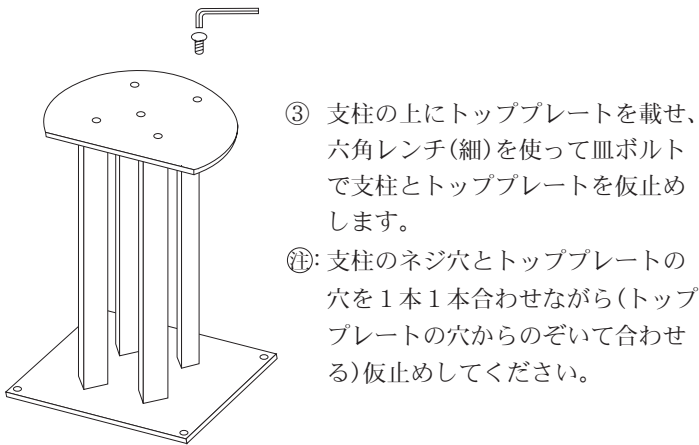
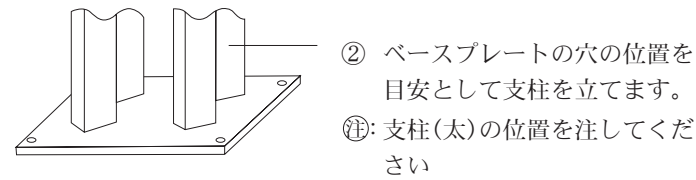
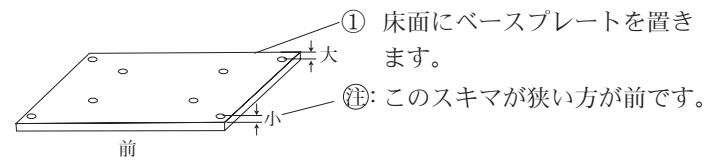
●音の傾向 ◎…非常によい ○…良い

	① 標準形	② バリエーション I	③ バリエーション II
ダイナミック感	◎	◎	◎
透明感	◎	◎	○
音の締まり	◎	○	○
ソフト感	○	◎	◎

当社では評価の結果では①を推奨しますが、ソフトフォーカスを好まれる方は、②、③もお試しください。

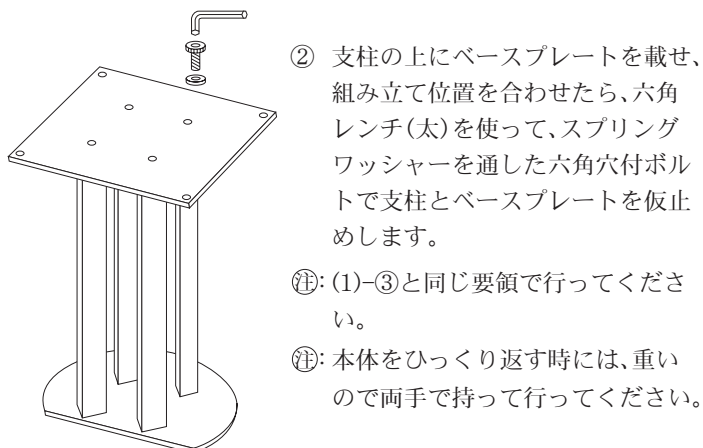
〔6〕組み立て方法

(1) トッププレートの仮組み付け



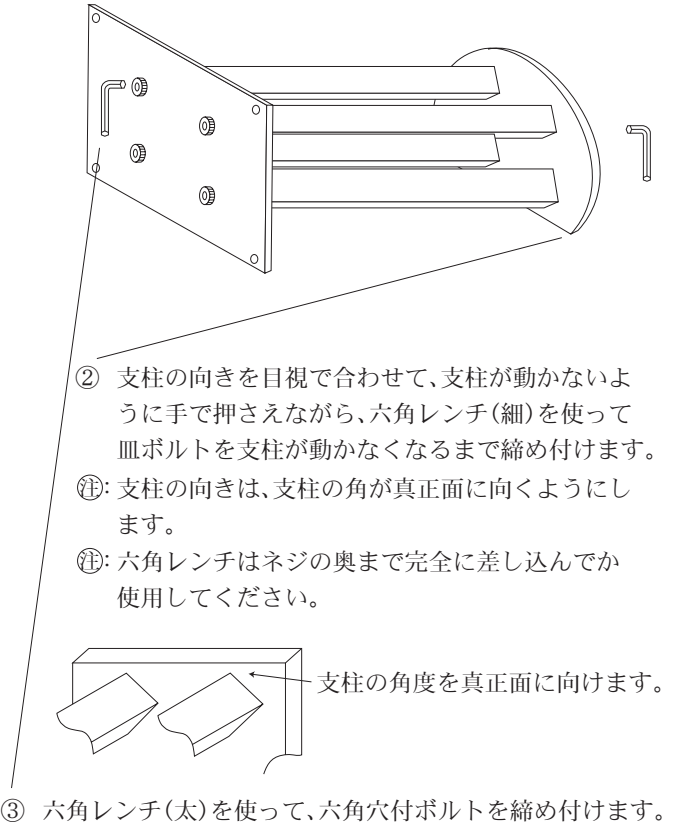
(2) ベースプレートの仮組み付け

- ① トッププレートの仮組付けが終わったら、本体をひっくり返します。



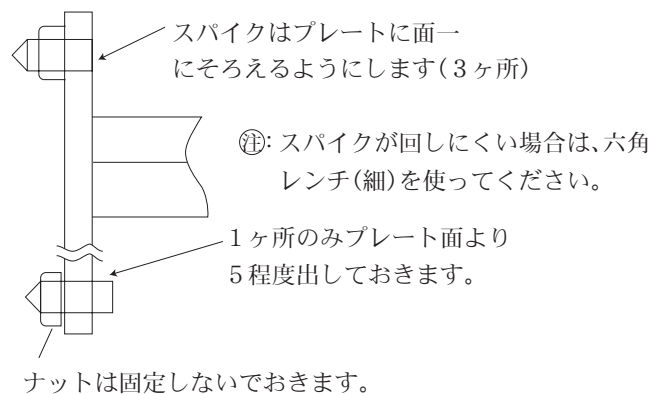
(3) トッププレート、ベースプレートの本組み付け

- ① ベースプレートの仮組み付けが終わったら、本体を床面上に横向きに寝かせてください。
- ② 本体を寝かせるときには、両手で支柱を持って行ってください。



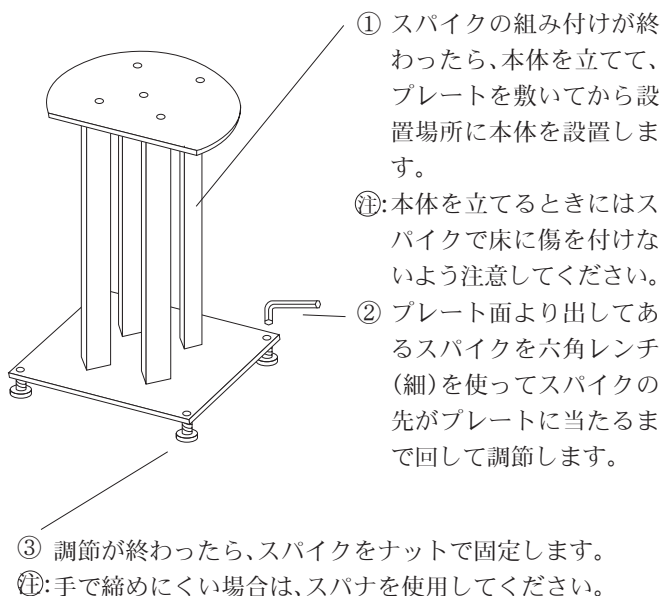
(4) スパイクの組み付け

- ① トッププレートベースプレートの本組み付けが終わったら、本体を寝かせたままベースプレートにスパイクを組み付けます。



〔7〕 支柱の角度を変更する方法

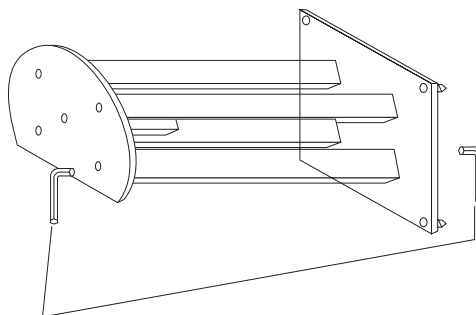
(5) スパイクの調整について



⚠ 注意

ベースプレート側の六角穴付きボルトを閉めたり緩めたりする時に、スパイクで手を引っ掻くことのないようレンチの取り扱いには十分注意してください。怪我の原因となることがあります。

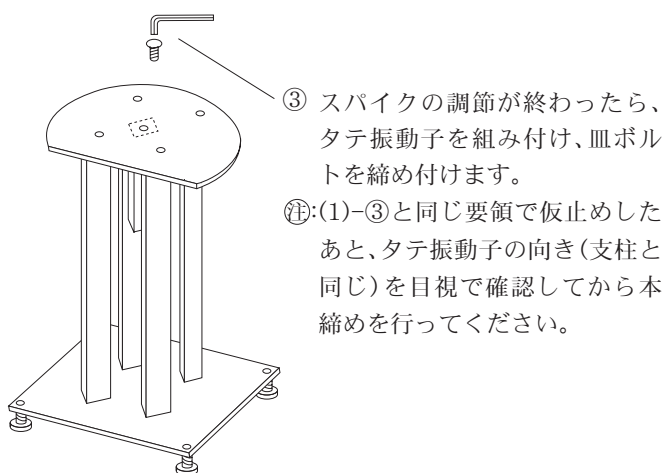
① 本体を床面上に横向きに寝かせます。



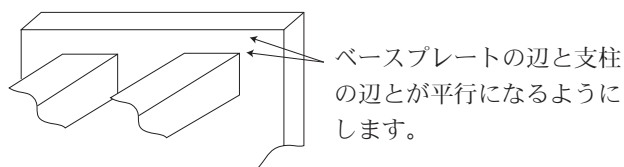
② 支柱が手で回転する状態まで皿ボルトと六角穴付きボルトを緩めます。

③ 支柱の向きを目視で合わせて、支柱が動かないよう手で押さえながら、緩めたボルトを締め付けます。(角度の合わせ方については、下図のパターンを参考にして、色々なパターンをお試しください)

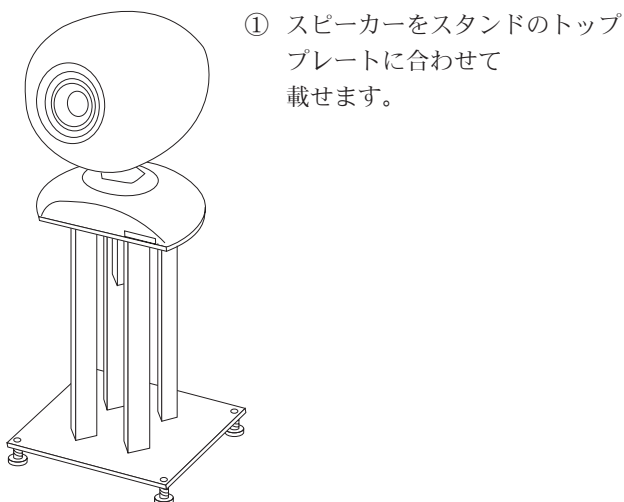
(6) タテ振動子の組み付け



支柱を平行にする場合



(7) スピーカの搭載について



〔4〕 仕様

●寸法および重量

トッププレート (W×Dmm)	ベースプレート (W×Dmm)	全高(mm)	重量 (kg/1台)
300×250	300×250	600	31

※本仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

富士通テン株式会社

所在地 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
 電話 神戸(078)671-5081
 090001-14020700
 0104AT(K)